

①申請者名・資本金・業種	②実施体制及び連携先
申請者名：株式会社 スプラウト 代表取締役 杉本 行男 資本金：1000 万円 業種：その他の管理、補助的経済活動を行う事務所 8809	社長以下社員一同目標達成に取り組んでいく。
③新事業活動の類型	④経営革新の目標
計画の対象となる類型全てに丸印を付ける。 ① 新商品の開発又は生産 ② 新役務の開発又は提供 ③ 商品の新たな生産又は販売の方式の導入 ④ 役務の新たな提供の方式の導入その他の新たな事業活動	経営革新計画のテーマ：太陽光発電事業のメンテナンス・機器検証に特化したサービスを販売していく。 太陽光発電システムを設置した既存、新規のユーザー宅を対象に当社独自のやり方でメンテナンスを有料にて実施。また、対外的には販売会社、施工会社と連携する。当社がメンテナンスを受け持ちそれぞれが特化した役割分担のなかで設置した顧客の効率性（メリット）に検証作業を中心としていく。
⑤経営革新の内容及び既存事業との相違点	
<p>・従来の事業の概要</p> <p>当社は平成 20 年 5 月 30 日に設立。創業の理念として「地球環境保全の一助となる企業であること」を目的に設立した。業務内容は、リサイクル事業である。主として建設系廃棄物の分別作業を、客先の間処理工場の中で請負っている。売上割合は、建設系廃棄物の仕分け業務が 70%、木材チップの破碎業務が 20%、薬品の焼却業務が 10% である。それぞれ、リサイクル品から原料を作る業務を行なっており、メーカーに運ばれ再生紙、再生プラスチック等の製品となる。</p> <p>・新事業の概要</p> <p>太陽光発電システムはメンテナンスフリーと言われているが、先発の海外ではトラブル事例が発生している。従って、今まで販売のみを考えてきた事業を見直し、新たにメンテナンスを行う事業も取り組もうと考えている。そのメンテナンスも現在メーカーのストリングスでの点検で見えない不具合の発生しているパネルを、赤外線カメラを活用して当社独自のモジュール一枚一枚を点検する方法により発見することができるものである。当社がメンテナンスの新事業を展開することで太陽光発電の発電効率を維持し、お客様の売電の利益を確保させていくと同時に、これはCO2削減に寄与し地球環境保全に向けての社会貢献となる事業である。</p> <p>・既存事業と新事業との関係や違いを記載</p> <p>現在、自社で太陽光発電システムの販売活動を行なっている。メンテナンスフリーと言われて来た太陽光発電システムであるが、インターネットからの既存顧客、トラブル事例からメンテナンスの必要性が今後増加すると予測する。新事業として赤外線カメラを活用し、新たにモジュール一枚一枚を点検し、ホットスポット、ハンダ不良、端子箱等の個々のモジュールに発生しているトラブルを点検するメンテナンス事業を展開する。販売、施工会社とも提携する事業展開も行う。</p>	